

## 提出書類チェックシート

- \* 提出書類について欠落がないかチェックの上、本状も提出願います。  
本チェックシートは、応募 1 件につき 1 枚のシートでチェックして下さい。

プログラム	我が国の国際的リーダーシップの確保 「我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保」
-------	---

課 題 名	
-------	--

事務書類	
提出資料チェックシート（本用紙） 提案書受領通知はがき 1 枚（メール送付の場合は不要） フロッピーディスク 1 枚（メール送付の場合は不要）	本用紙 切手貼付済み官製葉書 様式 8 - 1 を保存

提案書類（日本語で記入）	
表紙 1 枚 提案書 1 枚 課題構想・概要 1 枚 課題構想・詳細 課題内容 課題実施体制・所要経費概算 1 枚 所要経費の見込額 研究者データ 機関データ	（様式任意） 様式 8 - 1 様式 8 - 2 様式 8 - 3 様式 8 - 4 様式 8 - 5 様式 8 - 6 様式 8 - 7 及び別紙 様式 8 - 8

全てA4版とし、正確を期すため、ワープロ等判読しやすいもので作成、記入して下さい。

表紙には、プログラム名、課題名、代表者名・所属機関名を記載して下さい。

提案書類には通し番号（表紙から 1 / とし、以降 2 / 、 3 / とする通しページ）を右下に必ず打って下さい。

上記の提案書類については、それぞれ左肩をクリップ止めにして、4部提出願います。なお、その際に両面コピーは認められません。

様式 8 - 3 から 8 - 4 及び 8 - 6 から 8 - 8 については、特に枚数に制限はありませんが、できるだけ簡潔かつ明瞭をお願いします。

(様式 8 - 1)

提案書  
(我が国の国際的リーダーシップの確保)  
(「我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保」)

1 代表者・中核機関

代 表 者	ふりがな 提案者名		生年月日	西暦19 年 月 日 ( 歳 ) * 2003年4月1日現在の年齢
	機関・所属部署名			役職名
	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - -		
		TEL.		FAX.
		E-mail:		
所属機関 の産学官	所属機関が「産」「学」「官」のいずれに該当するか記入して下さい。(独法、国研=「官」、特殊法人=「産」、大学=「学」、民間=「産」)		エフォート(年間全仕事を100%とした際の当該研究に割く時間配分率) %	
事務連絡 担当者 (当該担当者に審査結果等 全ての連絡をいたします)	ふりがな 担当者名		役職名	
	機関・所属部署名			
	事 務 連 絡 先 (当該連絡先に審査結果等全 ての連絡をいたします)	〒 - 県 市 町 - -		
		TEL.		FAX.
E-mail:				

2 提案調査研究課題

課 題 名 (20字以内の題名)	(課題名は20字以内とし、サブタイトルは付けないこと。また、提案後、課題名の変更は基本的に認めない。)		
分類	別紙1「分野分類」より該当するものを1つ記入願います	分類	別紙1「分野分類」より該当するものを1つ記入願います
キーワード	当該研究課題の実施により我が国がリーダーシップを発揮することを期待しうる内容を表す単語(キーワード)を自由に記入(複数可)願います。		

4 業務実施予定期間(原則3年以内)  
平成15年8月 ~ 平成 年 月まで

財務省の承認日(8月目途)から業務開始の予定

5 経費の見込額(概算)  
初年度 百万円、総額 百万円

(別紙1)

## 分野の分類

<b>分野分類</b> (科学技術基本計画の優れた研究成果の創出・活用のための科学技術システム改革の章の項目、重要政策の章に記されている8分野の分類)	
	ライフサイエンス分野 情報通信分野 環境分野 ナノテクノロジー・材料分野 エネルギー分野 製造技術分野 社会基盤分野 フロンティア分野 上記の複数分野にまたがるもの その他

<b>分野分類</b> (公募要領に記載されている地球規模問題の分類)	
	地球環境問題 食糧問題 エネルギー問題 淡水管理 感染症対策 災害防止や被害の低減 上記の複数の分野にまたがるもの その他

( 様式 8 - 2 )

課題構想・概要 ( A 4 用紙 1 枚まで )

課題名 「 」  
代表者名 「 」  
中核機関名 「 」

課題の目標・概要

- 1 . 目的
  - ・ 当該課題がどのような観点において、我が国がリーダーシップを発揮することが適当であり、国際社会における持続的な協力関係を作り上げられる国際的に重要な課題であるかについて記述
- 2 . 内容
  - ・ 課題の実施について、手法も含め簡潔に記述
- 3 . アジア諸国とのパートナーシップの観点
  - ・ 当該課題の実施により、どのようにしてアジア諸国とのパートナーシップの強化に反映させるのかを簡潔に記述
- 4 . 複数機関間連携の必要性
  - ・ 当該課題の実施がどのような視点で、複数機関の連携を必要とするのかを簡潔に記述
- 5 . 推進委員会を構成する機関・組織等
  - ・ 推進委員会を構成する機関・組織等の名称を記述

諸外国の現状等

- 1 . 現状
  - ・ 当該課題における諸外国の取組の現状を記述
- 2 . 我が国の水準
  - ・ 同様の課題に対する諸外国と我が国との比較を具体的 ( 遅れているのか、進んでいるのか等 ) に記述

課題の実施により期待される効果

- ・ 当該課題の実施により、我が国の国際的リーダーシップの発揮に向け、どのような貢献が期待されるか具体的に記述。

( 様式 8 - 3 )

課題構想・詳細

課題名	「	」
代表者名	「	」
中核機関名	「	」

以下の項目毎に整理して記述して下さい。

- 1 課題実施の目的について
  - ・課題実施が必要となっている国際的情勢
  - ・背景の記述を踏まえ、どのように我が国が主体性を発揮していくのかを具体的に記述して下さい。
  
- 2 推進委員会の設置について
  - 当該課題の実施の内容から、どのような研究者、研究機関、NGO、学協会、研究グループ、その他(マスコミ、消費者団体等)から構成される推進委員会を設置するのかについて記述して下さい。(単一の研究コミュニティだけでなく、複数機関の連携が可能である構成とすること)
  
- 3 「国際的リーダーシップの確保」で当該課題を実施する必要性
  - (1) 当該課題の国際的重要性について
  
  - (2) 諸外国との比較優位性について
    - 当該課題に関して、諸外国と日本との取組状況の違いについて記述して下さい。
  
  - (3) アジア諸国との連携について
    - 当該課題の実施が、どのようにアジア諸国とのパートナーシップの強化に反映させるのかを記述して下さい。
  
  - (4) 連携先相手国研究機関・組織について
    - 当該課題の実施にあたり、連携先相手国研究機関の名称、連携内容について記述して下さい。
  
- 4 提案にいたる準備・調査等について
  
- 5 課題実施の波及効果について
  - 当該課題の実施により、我が国の国際的リーダーシップの発揮に向け、どのような貢献が期待されるか具体的に記述して下さい。

( 様式 8 - 4 )

課題内容

課題名	「	」
代表者名	「	」
中核機関名	「	」

〔 グループを構成する機関・組織等毎に、それぞれの担当者（氏名・年齢）を明記し、それぞれの機関・組織等における活動内容の概要を具体的かつ分かりやすく記述して下さい。 〕

( 1 ) 機関・組織名  
担当者名（年齢）

（活動内容記載）

・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
・  
・

( 2 ) 機関・組織名  
担当者名（年齢）

（活動内容記載）

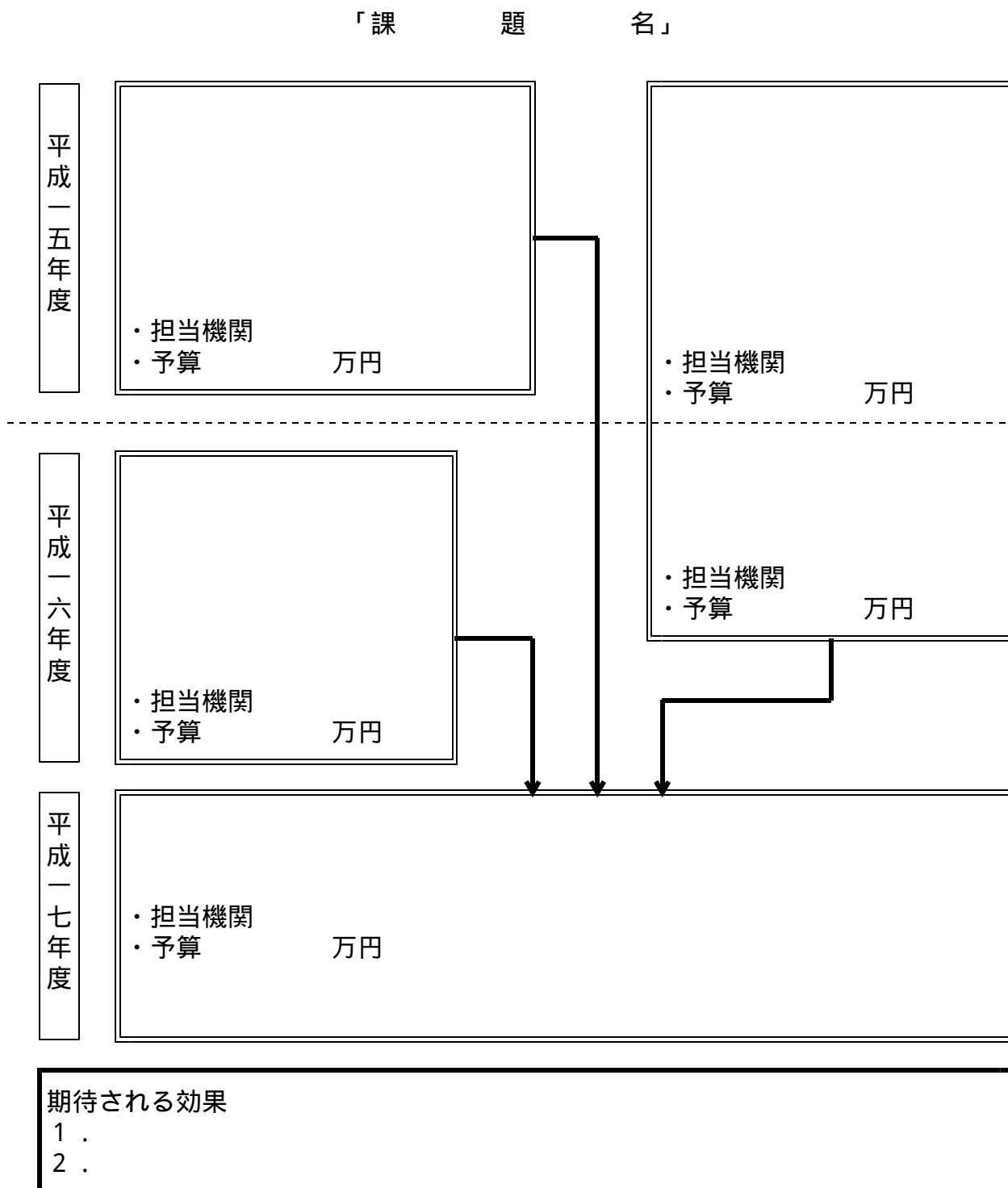
・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
・  
・

( 様式 8 - 5 )

課題実施体制・所要経費概算

課題名 「  
代表者名 「  
中核機関名 「

( 機関・組織等毎の課題実施の分担と実施期間、予算配分 ( 概算 ) を図示しつつ明確に記述 )



(様式 8 - 6)

所要経費の見込額

課題名 「 」  
代表者名 「 」  
中核機関名 「 」

(単位：百万円)

経費の内容	年 度			総 額
	15年度	16年度	17年度	
例) ( 大学 )	15	15	15	45
・・・会議開催	10	10	10	30
・・・の招へい	5	5		
( 研究所 )	42			
・・・会議開催	20			
・・・WS開催	12			
日本人研究者派遣	10			
( 総合研究所 )	15			
・・・の調査	15			
計	72			

注) 所要経費について、参画機関毎に大まかな内訳を記入すること。



( 様式 8 - 7 )

研究者データ  
( 研究代表者について作成 )

ふりがな 氏名			生年月日	西暦 19 年 月 日 ( 歳 ) * 2003年4月1日現在の年齢
所属機関	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - . Fax. E-mail:		
	機 関 名 所属部署		役 職 名	
研究歴	最終学歴	昭和 年 大学 学部卒業		
	学位	昭和 年 博士号 ( 学 ) 取得 ( 大学 )		
	主な職歴 と 研究内容	( 記入例 ) 昭和 年 ~ 年 大学 学部助手 について研究 昭和 年 ~ 年 大学 学部 研究員 に関する研究に従事 昭和 年 ~ 年 大学 学部教授 について研究		
	関連分野 における 研究内容	( 記入例 ) 平成 年 ~ 年 科学技術振興調整費委 託研究 について研究	%	
特記すべき国際活動 実績	( 記入例 ) 平成 年 国際学会において発表 平成 年 ~ 年 米国 機関と共同研 究の実施	%		
研究成果等に関する 情報	必要に応じ、別紙に記載のこと			

(様式 8 - 7 ・ 別紙)

## 研究成果等に関する情報

### 1 . 論文・著書等

・提案課題の内容に限ることなく、これまでに発表した論文(査読制度のあるジャーナル掲載に限る)著書(教科書、学会抄録、講演要旨は除く)等を新しいものから順に発表年次をさかのぼって記入すること。

・主要なものを選定し、1ページ以内に収めて下さい。

#### 論文

(タイトル、論文名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦))

#### 著書

(タイトル、著者、著書名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦))

#### 学協会誌等

(タイトル、著者、学協会誌等名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦))

### 2 . 特許等(申請中のものについては内数として括弧内に記載)

国内特許	件 ( 件 )	国外特許	件 ( 件 )
------	---------	------	---------

・主要な特許について、特許名、特許番号、取得または出願年月日を記入して下さい。

### 3 . 受賞歴、表彰歴

・主要なものについて、年月、受賞名等を記入して下さい。

(様式 8 - 8)

機関データ

(中核機関(ただし行政機関の場合は除く)に関する以下の情報について記載願います。)

何れの項目も概略で構いません。(詳細なパンフレット等を添付する必要はありません)

1. 機関名

2. 機関長名

3. 在籍する総職員数(概数で構いません)

4. 財務状況

- ・ 予算額の推移(平成11~13年度の総決算額)
- ・ 外部資金(機関全体として公募型資金により獲得した研究開発に係る補助金、委託費等)の総額の推移(平成11~13年度の総決算額ベース)

	平成11年度	平成12年度	平成13年度
総決算額(億円)			
外部資金の獲得総額 (決算ベース、億円)			

5. 主な国際活動実績

- ・ これまでに実施した国際活動の概要及び実施時期について記載して下さい。  
(詳細な内容に関する記述は不要です。)

実施時期	国際活動の概要

6. 中核機関以外に参画する機関・組織等の国際活動実績について

- ・ 参画する中核機関以外の機関・組織がこれまでに実施した国際活動の概要及び実施時期について記載して下さい。(詳細な内容に関する記述は不要です。)

機関又は組織名	実施時期	国際活動の概要